

ニホントカゲ・ニホンカナヘビを知ろう



ニホントカゲ

北海道、本州、四国、九州のほぼ全域に分布。平地から標高の高い山地まで生息し、石垣や草むら、土手、藪などによく見られるよ。幼体は黒っぽい体色に5本の派手な縦縞模様が入るんだ。メスはこの体色のままおとなになるけど、オスは褐色で落ち着いた体色になるよ。

ニホントカゲの幼体



ニホンカナヘビ

全国に広く分布する日本固有種で、平地の草むらや藪、山地、人家の庭先など、開けた場所に棲んでるよ。茂みや植木鉢の下、コンクリートの隙間などを探すと見つかりやすいよ。

トカゲとカナヘビの違いって？

ニホントカゲ



つるつる、テカテカ

ずんぐりむっくり
しっぽの長さは体と同じくらい

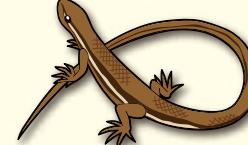
先が分かれていない

のどが赤くなる

土の中で卵を守る

2種類
ヒガシニホントカゲとニホントカゲ

ニホンカナヘビ



皮膚

カサカサ、キールと呼ばれる筋

体型・尾

細い
しっぽの長さは体の約2倍

舌

先が2又に分かれている

♂婚姻色

おなかが黄色くなる

子育て

卵を産んだらお別れ

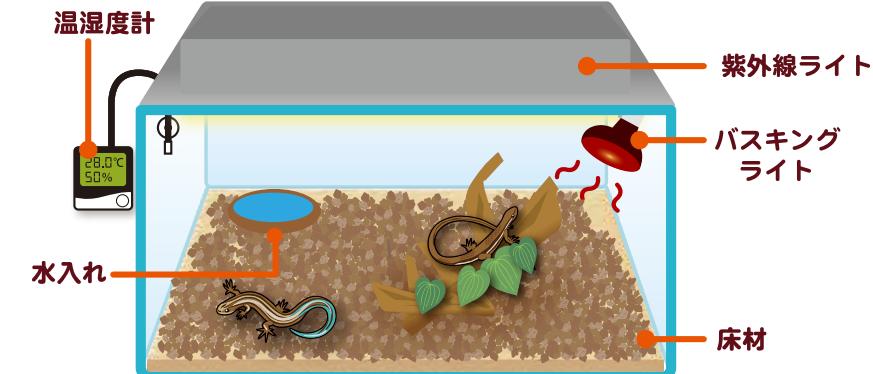
種類

沖縄の仲間はカラフル

ニホントカゲ・ニホンカナヘビを飼おう

[ケージ]
市販されているプラケースで飼育可能ですが、フタの開け閉めで音がなるケースはトカゲがびっくりして餌を食べづらくなってしまいます。扉式など開閉が静かで簡単なものだと便利です。

[照明]
紫外線を浴びることで合成されるビタミンDが、骨の維持・成長に必要なカルシウムの生成を助けるため、紫外線(UV)ライトが必要です。また、日光浴代わりとなるバスキングライトもある方が望ましいです。ライトを浴びて体温を高めることで食欲向上・脱皮不全予防などの効果があります。



[水入れ]
溺れない程度に浅い水入れを用意しましょう。水分を補給するため、毎日交換して綺麗な水を保ちましょう。

[シェルター・人工水草]
カナヘビやトカゲの仲間は臆病なため、隠れ家となるシェルターを用意してあげましょう。人工水草は、体を擦り付けたりして脱皮の手助けに使うことがあります。

[床材・湿度]
床材はハスクチップやパークチップが最適です。市販の爬虫類ソイルも使用可能ですが、粒が細かいものは餌と一緒に誤飲する恐れがあります。

[給餌]
3~4日に1回、レオパゲルの場合は適量を、レオパドライは半分に割ってふやかしたものを使いセットでつまんで与えましょう。目の前でふりふりすると高確率で食いつきます。
どうしても食べない場合は、ミルワームや活コオロギを与えてピンセットからの給餌に慣れさせましょう。



キヨーリンのおすすめ飼料



吸水3分～
モチモチ性



レオパドライ《昆虫食》

○	嗜好性	○
○	物性	○
○	累代繁殖	○
○	そのまま給餌	給餌の手間
△	冷蔵庫	保存性
△		経済性
×	ひかり菌	○

吸水5分過ぎてもモッちモチ（レオパドライ）

